

鶴見川出張所だより

京浜河川のHPは <http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/>

国土交通省関東地方整備局
京浜河川事務所
鶴見・新横浜出張所発行
(代表) 鶴見出張所
電話 045-501-3038
2014年09月10日【第18号】

防災情報入手し、台風、豪雨、地震などに備えよう！！ 横浜市、川崎市などの鶴見川流域の自治体からも防災情報が発信されています



横浜市HP

横浜市 総務局 General Affairs Bureau
Crisis Management of Yokohama
横浜市の危機管理

緊急情報 緊急のお知らせはありません。

防災情報

- 雨量、河川・遊水地水位
- マップ(地震、液状化)津波避難施設
- ハザードマップ(洪水、内水、土砂災害)

★その他『水防災情報』のHPなどもあります
HP <http://www.city.yokohama.lg.jp/somu/org/kikikanri/map.html>

8月に入ってから広島市や北海道の礼文島などで停滞前線により集中豪雨があり、多くの方が亡くなりました。

鶴見川流域の自治体でもホームページで防災情報を提供しています。

横浜市は『横浜市の危機管理』、川崎市は『川崎市防災ポータルサイト』、町田市は『防犯・防災』、東京都『東京都防災ホームページ』、神奈川県『防災・災害情報』などで防災情報を提供しています。

自分たちが住んでいる地域が、どうなっているのか各々ハザードマップなどで調べ、確認しておくことも必要です。(主なものを紹介)



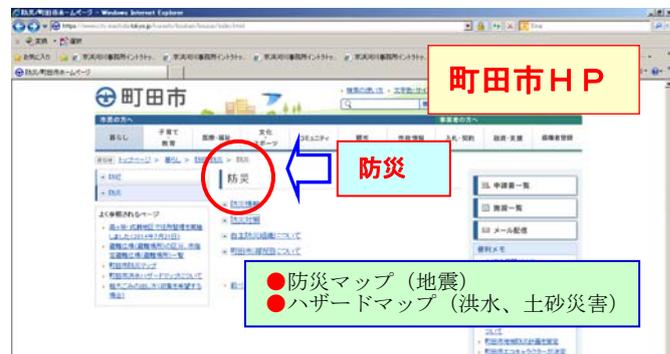
川崎市HP

川崎市 防災情報ポータルサイト
KAWASAKI CITY

防災情報

- 雨量、河川水位
- マップ(防災)
- ハザードマップ(洪水、津波、土砂災害)

★防災情報等をメール配信
HP <http://portal.kikikanri.city.kawasaki.jp/index.shtml>



町田市HP

町田市

防災

- 防災マップ(地震)
- ハザードマップ(洪水、土砂災害)

★防災関連ページ部分
HP <https://www.city.machida.tokyo.jp/kurashi/bouhan/bousai/>
★その他、『防災情報』をメール配信しています
HP <http://www.city.machida.tokyo.jp/merumaga/shinkitouroku.html>



東京都HP

東京都防災ホームページ
Disaster Preparedness Information

- 降雨・河川水位情報
- 地震・気象情報
- マップ(地震、土砂災害)

★東京都防災ツイッター
★ツイッターアラート
(重要な情報を携帯に配信)
★東京都防災マップ
(防災施設などを検索)
HP <http://www.bousai.metro.tokyo.jp/index.html>



神奈川県HP

防災・災害情報

- 雨量水位情報
- 土砂災害システム
- 津波浸水予測図

HP <http://www.pref.kanagawa.jp/sys/bousai/portal/>

鶴見川の河川管理区間を紹介します

国土交通省・東京都・神奈川県・横浜市が分担して管理しています



鶴見川やその支川の管理者を紹介いたします。

左図で紹介しているように、緑色の部分が国（国土交通省）で管理している部分です。

青色が神奈川県、オレンジ色が東京都、紫色が横浜市となっています。

国で管理している範囲は、末吉橋から下流側が『鶴見出張所』、それより上流と矢上川、早淵川、鳥山川の一部を『新横浜出張所』が受け持っています。

詳しくは、ホームページをご覧ください。

鶴見川流域センターで10月中旬まで鶴見川のアユを展示しています

鶴見川でもたくさんのアユが生息しているのをご存じですか。

平成に入った頃から鶴見川ではアユの遡上が確認され始め、最近では亀甲橋の下で投網を打つと10匹程度はすぐ捕獲されます。

鶴見川流域センターでは、アユの解禁日が6月1日からと神奈川県条例で定められているため、6月1日から10月中旬まで2階の鶴見川流域水族館でアユの展示を行っています。

この水族館では、アユの他にも鶴見川の上流、中流、下流域で捕れた様々な魚が展示されています。



流域センターで展示されているアユ

あとがき

今回は、鶴見川の流域の自治体がどんな防災情報を提供しているのか紹介しました。

広島市では、土石流で大きな被害がありました。横浜市、川崎市、町田市では、そういう危険性のあるところはないのか？

河口部の平地では、大きな地震があったとき、津波の心配は大丈夫なのか？

各自治体で出されている防災情報は、洪水ハザードマップ、津波ハザードマップ、土砂災害などで危険な箇所をお知らせしています。

鶴見川流域に住んでいる方やお仕事をしている方に知って頂くために今月号で紹介しました。

『鶴見川 出張所だより』編集長（上林喜美夫）

鶴見川流域センターは元気に情報発信しています

JR小机駅の近くにある、地域防災施設『鶴見川流域センター』は、流域にお住まいの皆様への情報発信施設として、また、洪水や地震時の防災拠点となる施設として運営しています。

91年前の大正12年（1923年）9月1日に関東大震災が発生しました。この日が『防災の日』になり、9月が防災月間となっています。

鶴見川流域センターでは、今月中旬から防災をテーマにした展示等を予定しています。

流域センター <http://www.tr-net.gr.jp/>

【毎週火曜日が休館日です】

住所 横浜市港北区小机町2081

電話 045-475-1998

（鶴見川流域センター直通）